令和８年度 函館市文学館 文学の道しるべ 第２回

村上春樹の軌跡

―『風の歌を聴け』から『夏帆』まで―

1979 年のデビュー作『風の歌を聴け』から,今年 2026 年の『夏帆』まで,作家・村上春樹は 16 編の長編小説と多数の短編作品を紡ぎ出してきました。彼の文学は,人間にとっての危機のあり方を見つめ,特に男女や家族など個人間における愛とその障害を描き,また人が否応なく巻き込まれる戦争や災害を題材に取り込んできました。

その様相は,〈すべては輪のように繋がっている〉とする複雑な物語の連環構造によって実現されています。この講演では,最新作『夏帆』の解説を含め,そのような村上文学がたどってきた軌跡を分かりやすくお話しします。



講　師：　**中村　三春**

（北海道大学名誉教授）



１２月５日（土）午後２時～

午後３時３０分（終了予定）

参加料　５００円（ざいだん友の会 会員４００円）

定　員　３０名　※要事前申込み

会　場　函館市文学館１階ラウンジ

函館市末広町 22 番 5 号

申し込み・問い合わせ　**函館市文学館**

☎（０１３８）２２－９０１４

主催：公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団